

(1) 概況

平成21年の大分県鉱工業生産指数（平成17年＝100）は、図1で見られるように91.7で前年比▲14.3%と、大幅に低下した。

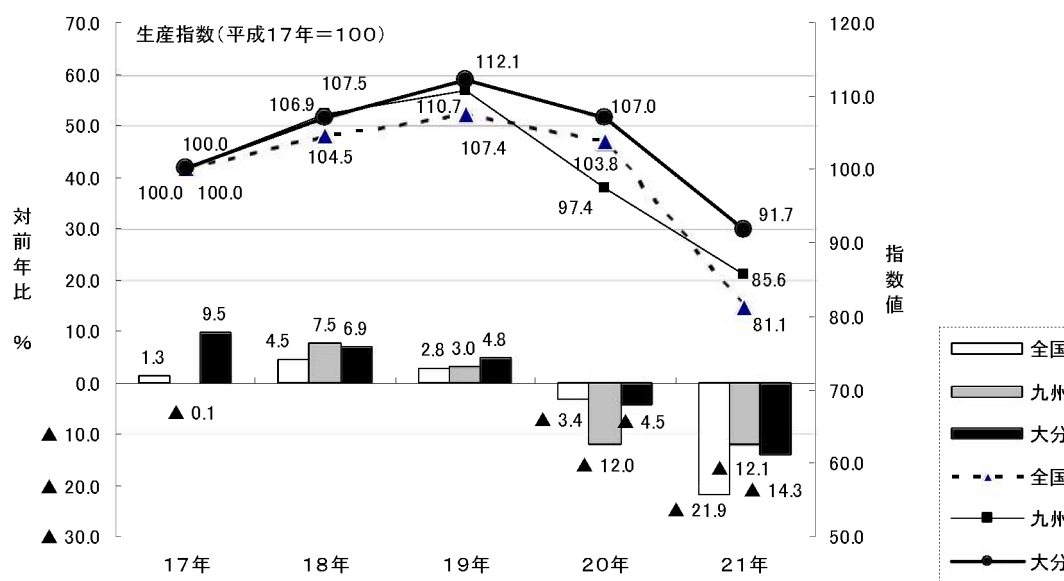
全国の生産指数は81.1で前年比▲21.9%と、九州は85.6で前年比▲12.1%となり、いずれも大きく低下した。

生産指数を業種別にみると、前年に比べ、木材・木製品工業、精密機械工業、石油製品工業の3業種が上昇し、繊維工業、家具工業、情報通信機械工業等、17業種が低下した。財別では最終需要財および生産財ともに大幅に低下した。

出荷指数は、94.7で前年比▲11.9%となり、2年連続の低下となった。業種別にみると、前年に比べ、精密機械工業、木材・木製品工業、石油製品工業3業種が上昇し、繊維工業、家具工業、その他製品工業等17業種が低下した。

在庫指数は、91.9で前年比▲7.8%となり、2年ぶりの低下となった。業種別にみると、前年に比べ、精密機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業、食料品工業等6業種が上昇し、電子部品・デバイス工業、一般機械工業、繊維工業等12業種が低下した。

図1 生産指数及び対前年比の推移（統計表1）



(ア) 生産活動の特徴

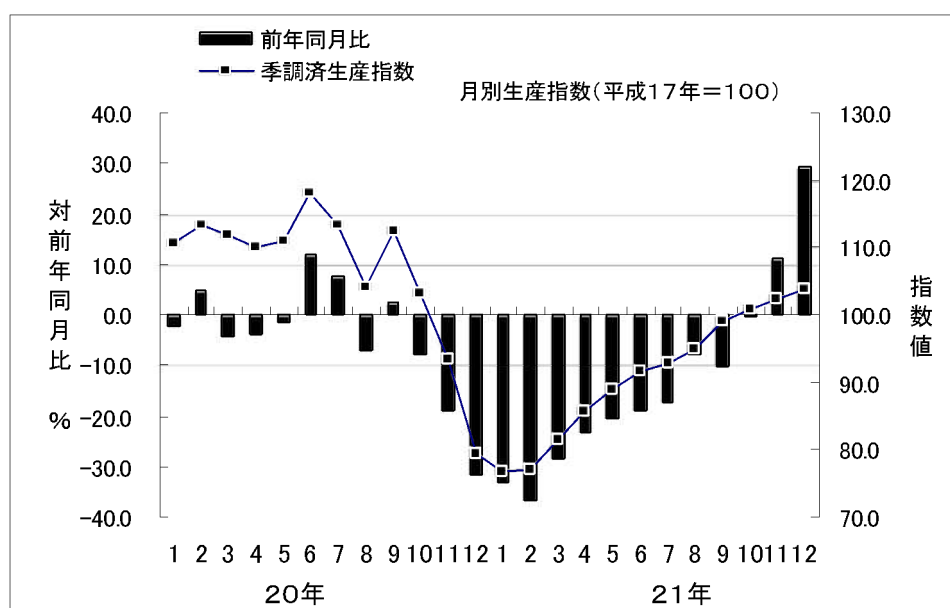
a 生産指数は急速に上昇

平成21年平均生産指数は91.7で、対前年比▲14.3%と大幅な低下となった。

しかしながら、月別の生産指数（季節調整済指数）と各月の前年同月比（原指数）の推移を図2で見ると、1月に平成17年基準改定以後最低を記録したが、その後急速に回復し10月には平成17年の水準に戻った。

図2 月別生産指数（季節調整済指数）及び対前年同月比（原指数）の推移

(統計表7)



b 3業種が上昇、17業種が低下

平成21年平均生産指数を業種別にみると、精密機械工業が4年連続上昇するなど、20業種中3業種が上昇した。一方、繊維工業が6年連続、食品工業が5年連続低下するなど、17業種が低下した。

上昇した3業種は、木材・木製品工業（対前年比4.7%）、精密機械工業（同3.9%）、石油製品工業（同3.2%）であり、低下した17業種の主な業種は、繊維工業（同▲41.5%）、家具工業（同▲29.7%）、情報通信機械工業（同▲28.8%）などである

平成21年平均生産指数は91.7で、対前年比▲14.3%と大幅な低下となった。

(イ) 四半期別の動向

表1は、平成21年の四半期別生産指数の推移を示したものである。

本県においては、I期は前期比で大幅に低下したものの、II期、III期、IV期は前期比で上昇した。

業種別四半期別の動向は、表2のとおりである。

表1 四半期別生産指数（季節調整済）の推移（統計表10）

区分	全国		九州		大分		
	指数	前期比 (%)	指数	前期比 (%)	指数	前期比 (%)	前年同期比 (%)
21年1～3月	74.2	▲20.0	73.7	▲24.8	78.5	▲14.8	▲29.9
4～6月	79.0	6.5	83.7	13.6	88.8	13.1	▲21.4
7～9月	83.2	5.3	89.9	7.4	95.6	7.7	▲13.1
10～12月	88.1	5.9	95.2	5.9	102.5	7.2	11.3

表2 業種別四半期別生産指数（季節調整済）の推移（統計表10）

業種別	生産指数				前期比 (%)			
	21年				21年			
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
鉱工業総合	78.5	88.8	95.6	102.5	▲14.8	13.1	7.7	7.2
製造工業	78.5	88.9	95.7	102.7	▲14.9	13.3	7.7	7.3
鉄鋼業	66.3	67.6	87.9	112.4	▲22.8	2.1	29.9	28.0
非鉄金属工業	102.8	102.7	108.7	102.6	▲3.8	▲0.1	5.8	▲5.6
金属製品工業	82.8	93.8	94.8	79.8	▲8.3	13.2	1.1	▲15.8
一般機械工業	78.9	85.7	109.5	107.0	▲26.3	8.7	27.7	▲2.3
電気機械工業	67.4	95.6	129.5	147.2	▲36.1	42.0	35.4	13.7
情報通信機械工業	77.8	108.9	96.9	97.2	▲17.2	40.0	▲11.0	0.3
電子部品・デバイス工業	45.1	67.1	81.9	99.1	▲38.7	48.9	22.0	21.1
輸送機械工業	106.0	107.2	120.2	130.4	▲19.2	1.1	12.2	8.5
精密機械工業	127.5	128.3	134.2	133.1	3.1	0.6	4.7	▲0.8
窯業・土石製品工業	80.1	79.0	82.4	84.3	▲10.9	▲1.4	4.3	2.3
化学工業	73.4	96.8	92.2	99.8	▲10.0	31.8	▲4.7	8.2
石油製品工業	93.0	104.4	93.4	106.8	▲3.9	12.2	▲10.5	14.3
繊維工業	36.6	28.6	27.6	29.2	▲18.3	▲21.9	▲3.4	5.8
木材・木製品工業	76.7	80.8	85.2	84.4	5.1	5.4	5.4	▲0.9
食料品工業	83.5	88.0	87.9	88.0	▲12.5	5.5	▲0.1	0.1
その他工業	75.9	83.5	86.6	86.7	▲14.6	10.0	3.7	0.1
パルプ・紙・紙加工品工業	81.5	92.0	89.2	92.1	▲9.3	13.0	▲3.1	3.3
家具工業	59.9	50.2	53.4	49.1	▲12.2	▲16.3	6.4	▲8.0
プラスチック製品工業	86.8	95.0	99.8	97.3	▲13.7	9.4	5.1	▲2.6
その他製品工業	55.0	62.2	70.6	73.3	▲23.2	13.1	13.6	3.8
鉱業	80.6	77.4	81.0	81.5	▲11.1	▲4.1	4.7	0.6

<四半期別動向の詳細>

a 1～3月期

生産指数は、78.5で前期比▲14.8%の低下となった。この期は、全20業種中2業種が上昇、18業種が低下となった。上昇した業種は、木材・木製品工業（前期比5.1%）、精密機械工業（同3.1%）である。

一方、低下した主な業種は、電子部品・デバイス工業（前期比▲38.7%）、電気機械工業（同▲36.1%）、一般機械工業（同▲26.3%）などである。

b 4～6月期

生産指数は、88.8で前期比13.1%の上昇となった。この期は、全20業種中15業種が上昇、5業種が低下となった。上昇した主な業種は、電子部品・デバイス工業（前期比48.9%）、電気機械工業（同42.0%）、情報通信機械工業（同40.0%）などである。

一方、低下した主な業種は、繊維工業（前期比▲21.9%）、家具工業（同▲16.3%）、鉱業（同▲4.1%）などである。

c 7～9月期

生産指数は95.6で前期比7.7%の上昇となった。この期は、全20業種中14業種が上昇、6業種が低下となった。上昇した主な業種は、電気機械工業（前期比35.4%）、鉄鋼業（同29.9%）、一般機械工業（同27.7%）などである。

一方、低下した主な業種は、情報通信機械工業（前期比▲11.0%）、石油製品工業（同▲10.5%）、化学工業（同▲4.7%）などである。

d 10～12月期

生産指数は、102.5で前月比7.2%の上昇となった。この期は、全20業種中13業種が上昇、7業種が低下となった。上昇した業種は、鉄鋼業（前期比28.0%）、電子部品・デバイス工業（同21.1%）、石油製品工業（同14.3%）である。

一方、低下した主な業種は、金属製品工業（前期比▲15.8%）、家具工業（同▲8.0%）、非鉄金属工業（同▲5.6%）などである。

(ウ) 業種別寄与率及び寄与度

総合の伸びに対して、その内訳である業種がどの程度影響を与えたかを示したものが寄与度である。

平成21年の生産指数は、前年比▲14.3%の低下となっている。この伸び率に対して上昇に寄与したものが3業種、低下に寄与したものが17業種となっている。

上昇に寄与した業種は、精密機械工業（寄与度0.3%）、石油製品工業（同0.0%）、木材・木製品工業（同0.0%）である。

一方、低下に寄与した主な業種は、情報通信機械工業（寄与度▲4.8%）、鉄鋼業（同▲2.8%）、電子部品・デバイス工業（同▲2.6%）などである。

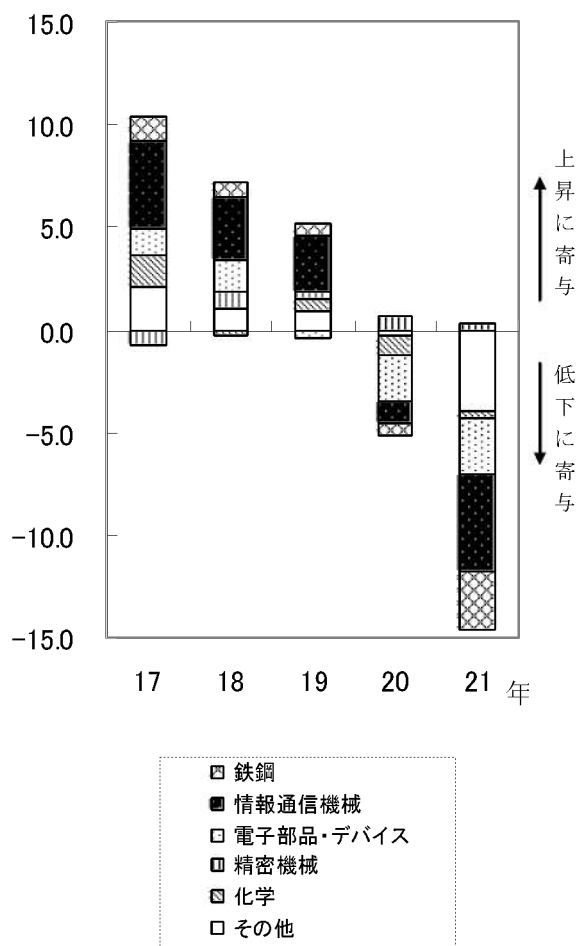
また、図3は、その年の生産総合指数の伸びに対する業種別の寄与度について、平成17年以降の推移を示したものである。全ての年次において情報通信機械工業が、また、平成20年以降は電子部品・デバイス工業が大きく寄与していることがわかる。

表3 業種別寄与度表

業 種 別	寄与度(%)
鉄 工 業 総 合	▲14.3
製 造 工 業	▲14.2
鉄 鋼 業	▲2.8
非 鉄 金 属 工 業	▲0.8
金 属 製 品 工 業	▲0.1
一 般 機 械 工 業	▲1.0
電 気 機 械 工 業	▲0.1
情 報 通 信 機 械 工 業	▲4.8
電 子 部 品 ・ デ バ イ ス 工 業	▲2.6
輸 送 機 械 工 業	▲0.8
精 密 機 械 工 業	0.3
窯 業 ・ 土 石 製 品 工 業	▲0.3
化 学 工 業	▲0.4
石 油 製 品 工 業	0.0
織 維 工 業	▲0.1
木 材 ・ 木 製 品 工 業	0.0
食 料 品 工 業	▲0.4
そ の 他 工 業	▲0.4
パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加 工 品 工 業	▲0.1
家 具 工 業	▲0.1
プ ラ ス チ ッ ク 製 品 工 業	▲0.1
そ の 他 製 品 工 業	▲0.1
鉄	▲0.1

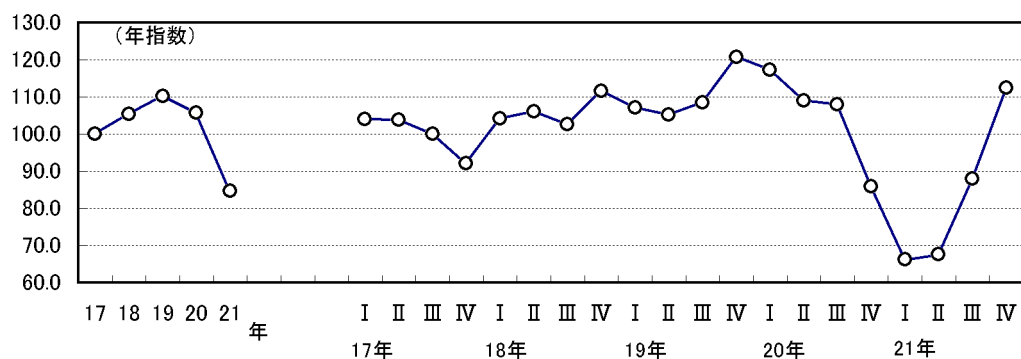
注) 本表は業種ごとに四捨五入しているの
内訳と合計が一致しないことがある。

図3 鉄工業生産総合指数の伸びに対する
業種別寄与度の推移



(2) 業種別の生産動向 [年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数 平成17年=100]

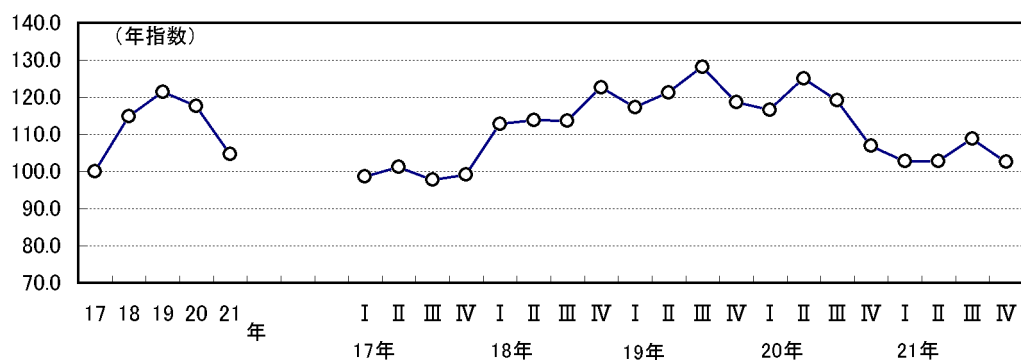
① 鉄鋼業



平成21年の鉄鋼業の生産指数は84.7で、上半期に大幅に低下したものの、第4半期には平成20年上半期の水準に戻った。

[鉄鋼業]	生産指数	前期比 (%)	前年(同期)比 (%)
21年	84.7	-	▲ 19.9
I期	66.3	▲ 22.8	▲ 43.5
II期	67.6	2.1	▲ 37.9
III期	87.9	29.9	▲ 18.6
IV期	112.4	28.0	31.0

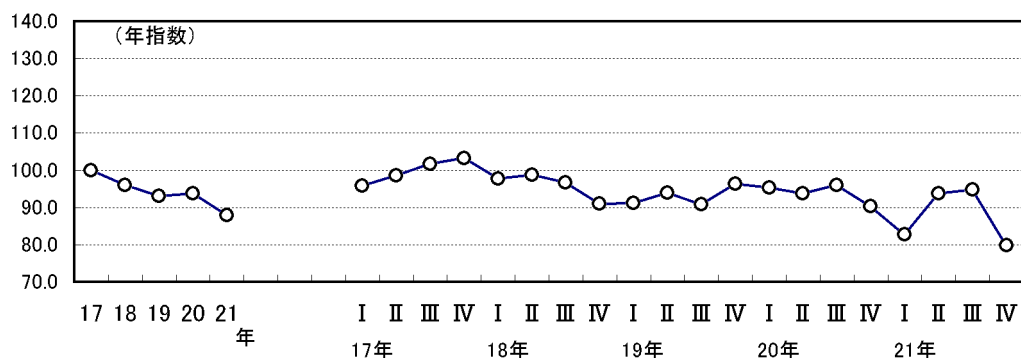
② 非鉄金属工業



平成21年の非鉄金属工業の生産指数は104.7で、前年比▲11.0%と2年連続の低下となった。

[非鉄金属工業]	生産指数	前期比 (%)	前年(同期)比 (%)
21年	104.7	-	▲ 11.0
I期	102.8	▲ 3.8	▲ 11.8
II期	102.7	▲ 0.1	▲ 17.8
III期	108.7	5.8	▲ 8.8
IV期	102.6	▲ 5.6	▲ 4.0

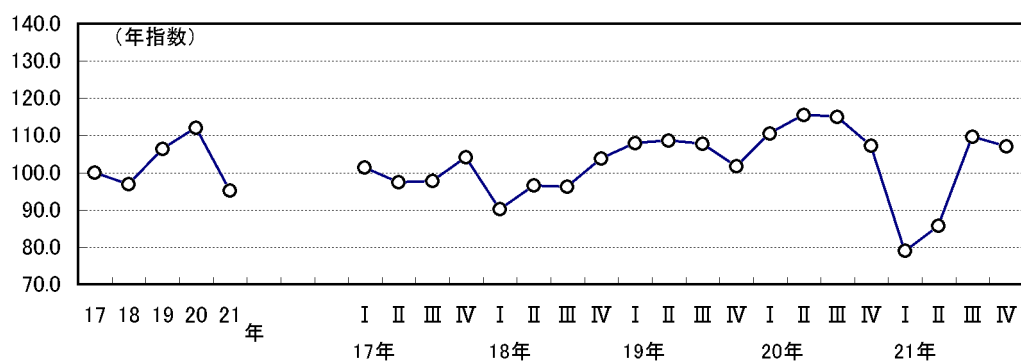
③ 金属製品工業



平成21年の金属製品工業の生産指数は88.0で、前年比▲6.1%と2年ぶりの低下となった。

〔金属製品工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
21年	88.0	-	▲ 6.1
Ⅰ期	82.8	▲ 8.3	▲ 13.2
Ⅱ期	93.8	13.2	0.1
Ⅲ期	94.8	1.1	▲ 1.2
Ⅳ期	79.8	▲ 15.8	▲ 11.6

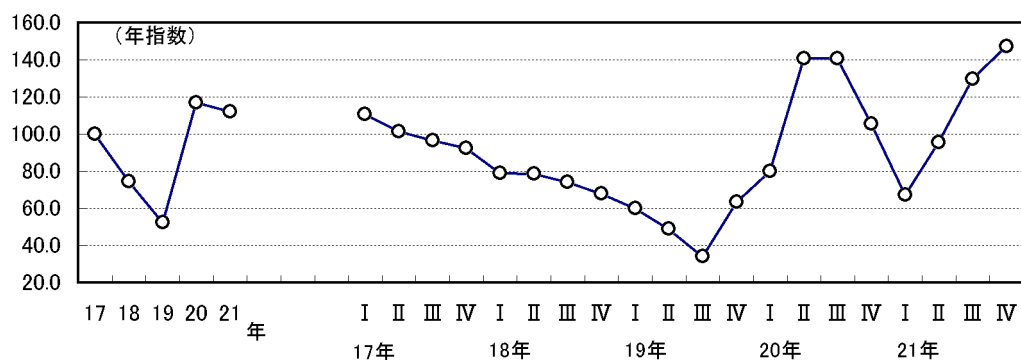
④ 一般機械工業



平成21年の一般機械工業の生産指数は95.0で、上半期に大幅に低下したものの、下半期には平成20年の水準に戻った。

〔一般機械工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
21年	95.0	-	▲ 15.1
Ⅰ期	78.9	▲ 26.3	▲ 28.6
Ⅱ期	85.7	8.7	▲ 25.7
Ⅲ期	109.5	27.7	▲ 4.8
Ⅳ期	107.0	▲ 2.3	▲ 0.1

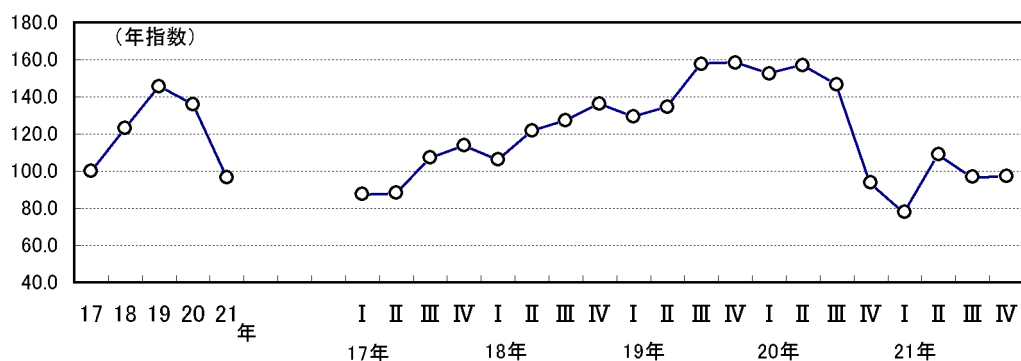
⑤ 電気機械工業



平成21年の電気機械工業の生産指数は112.1で、第1四半期に大幅に低下したものの下半期には平成20年上半期の水準に戻った。

〔電気機械工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
21年	112.1	-	▲ 4.3
I期	67.4	▲ 36.1	▲ 16.0
II期	95.6	42.0	▲ 32.1
III期	129.5	35.4	▲ 7.8
IV期	147.2	13.7	39.6

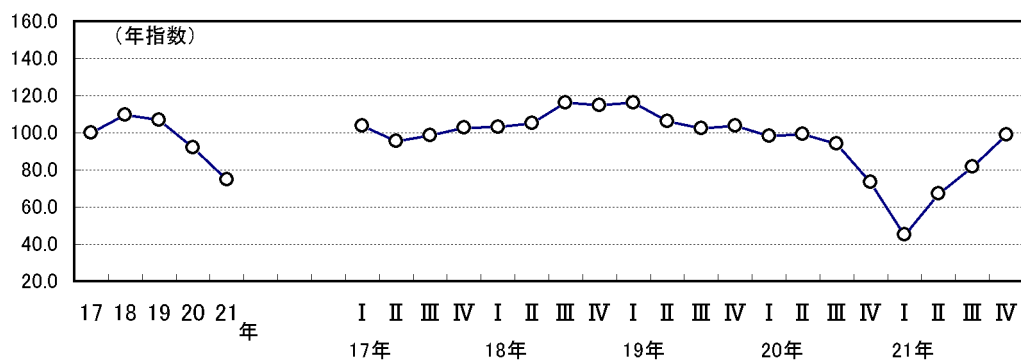
⑥ 情報通信機械工業



平成21年の情報通信機械工業の生産指数は96.7で、前年比▲28.8%と大幅な低下となった。

〔情報通信機械工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
21年	96.7	-	▲ 28.8
I期	77.8	▲ 17.2	▲ 49.0
II期	108.9	40.0	▲ 30.6
III期	96.9	▲ 11.0	▲ 33.9
IV期	97.2	0.3	3.5

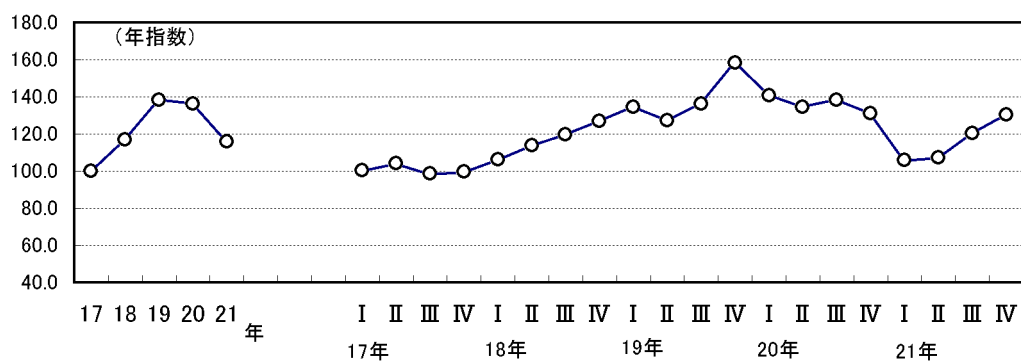
⑦ 電子部品・デバイス工業



平成21年の電子部品・デバイス工業の生産指数は74.8で、第1四半期に大幅に低下したものの第4四半期には平成20年上半期の水準に戻った。

〔電子部品・デバイス工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
21年	74.8	-	▲ 18.7
I期	45.1	▲ 38.7	▲ 54.1
II期	67.1	48.9	▲ 32.4
III期	81.9	22.0	▲ 13.1
IV期	99.1	21.1	34.9

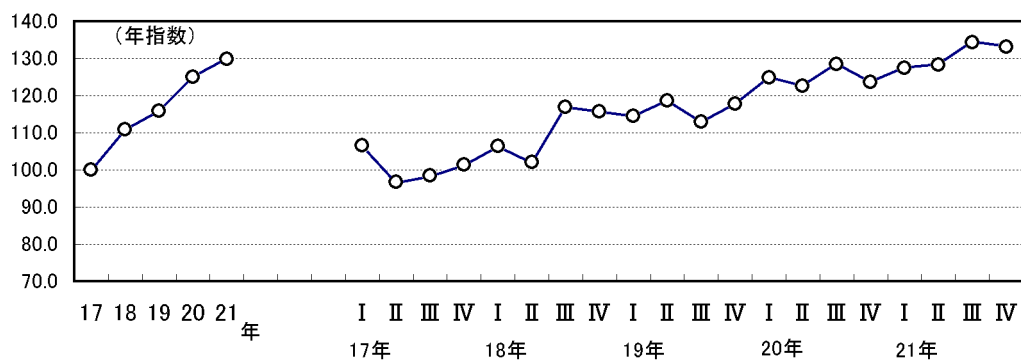
⑧ 輸送機械工業



平成21年の輸送機械工業の生産指数は115.8で、前年比▲15.1%と2年連続で低下したものの、第4四半期には平成20年平均の水準に戻った。

〔輸送機械工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
21年	115.8	-	▲ 15.1
I期	106.0	▲ 19.2	▲ 24.6
II期	107.2	1.1	▲ 20.2
III期	120.2	12.2	▲ 13.0
IV期	130.4	8.5	▲ 0.6

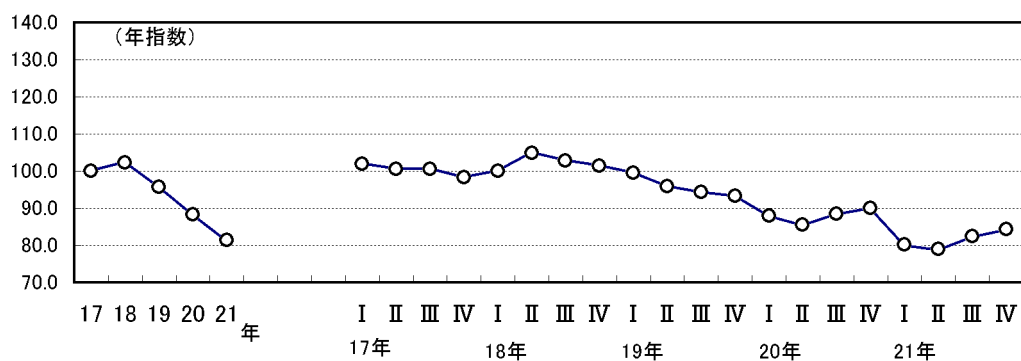
⑨ 精密機械工業



平成21年の精密機械工業の生産指数は129.9で、前年比3.9%と4年連続の上昇となった。

[精密機械工業]	生産指数	前期比 (%)	前年(同期)比 (%)
21年	129.9	-	3.9
I期	127.5	3.1	2.1
II期	128.3	0.6	4.7
III期	134.2	4.7	4.4
IV期	133.1	▲ 0.8	7.7

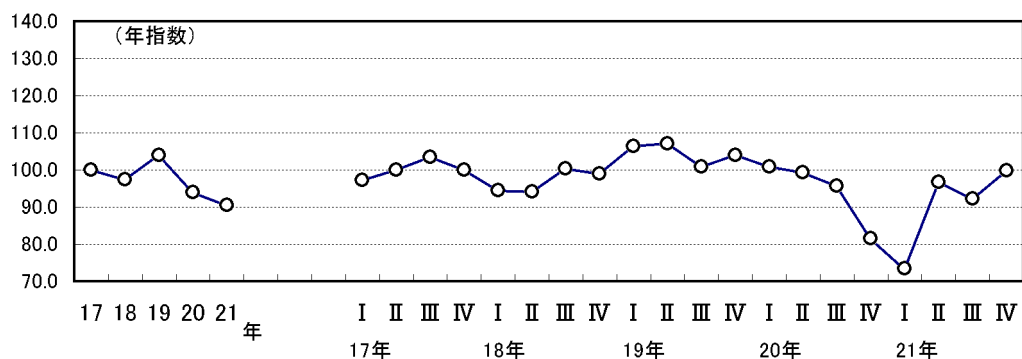
⑩ 窯業・土石製品工業



平成21年の窯業・土石製品工業の生産指数は81.4で、前年比▲7.8%と3年連続の低下となった。

[窯業・土石製品工業]	生産指数	前期比 (%)	前年(同期)比 (%)
21年	81.4	-	▲ 7.8
I期	80.1	▲ 10.9	▲ 8.9
II期	79.0	▲ 1.4	▲ 7.5
III期	82.4	4.3	▲ 6.9
IV期	84.3	2.3	▲ 6.3

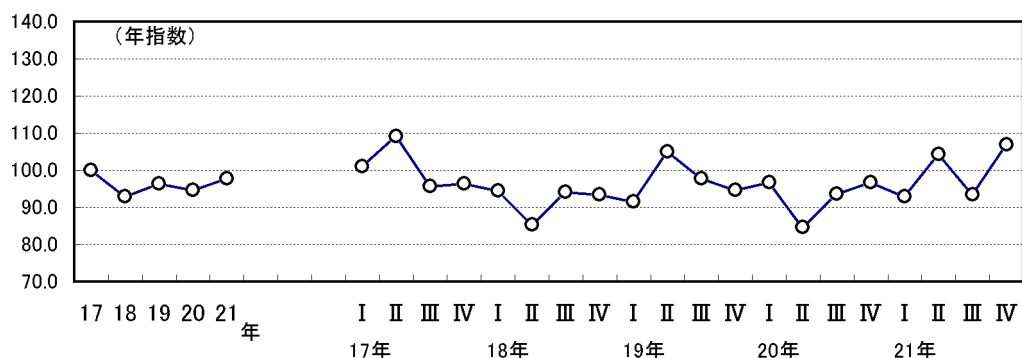
⑪ 化学工業



平成21年の化学工業の生産指数は90.4で、第1四半期に大幅に低下したものの下半期には平成20年上半期の水準に戻った。

〔鉄鋼業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
21年	90.4	-	▲ 3.7
Ⅰ期	73.4	▲ 10.0	▲ 27.3
Ⅱ期	96.8	31.8	▲ 2.5
Ⅲ期	92.2	▲ 4.7	▲ 3.7
Ⅳ期	99.8	8.2	22.3

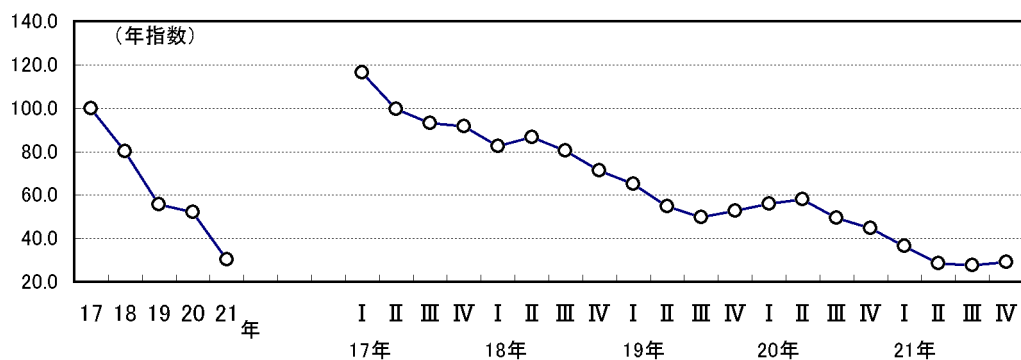
⑫ 石油製品工業



平成21年の石油製品工業の生産指数は97.7で、前年比3.2%と2年ぶりの上昇となった。

〔非鉄金属工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
21年	97.7	-	3.2
Ⅰ期	93.0	▲ 3.9	▲ 3.9
Ⅱ期	104.4	12.2	23.3
Ⅲ期	93.4	▲ 10.5	▲ 0.2
Ⅳ期	106.8	14.3	10.4

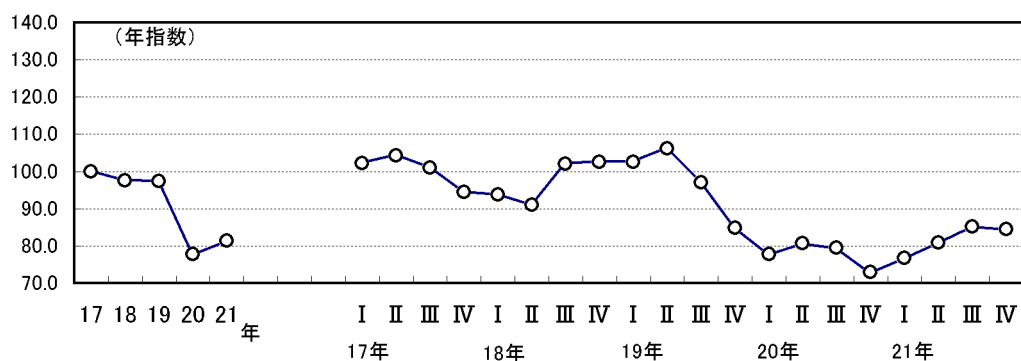
⑬ 繊維工業



平成21年の繊維工業の生産指数は30.4で、前年比▲41.5%と6年連続の低下となった。

〔金属製品工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
21年	30.4	-	▲ 41.5
I期	36.6	▲ 18.3	▲ 34.6
II期	28.6	▲ 21.9	▲ 50.7
III期	27.6	▲ 3.4	▲ 44.4
IV期	29.2	5.8	▲ 34.8

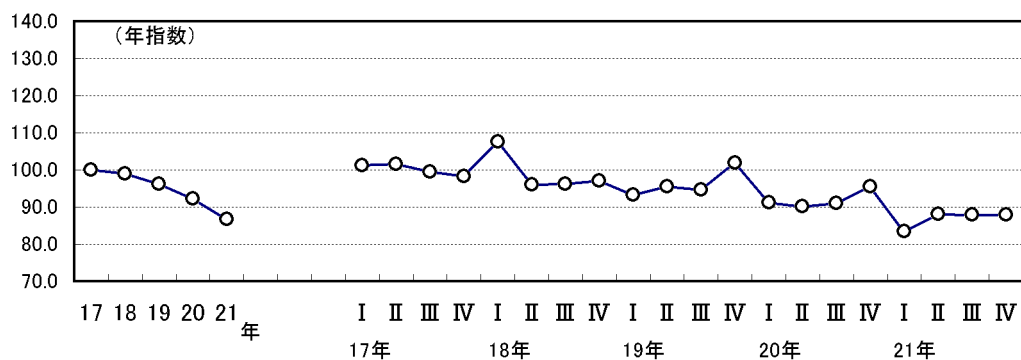
⑭ 木材・木製品工業



平成21年の木材・木製品工業の生産指数は81.3で、前年比4.7%と小幅な上昇となった。

〔一般機械工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
21年	81.3	-	4.7
I期	76.7	5.1	▲ 1.4
II期	80.8	5.4	0.2
III期	85.2	5.4	7.1
IV期	84.4	▲ 0.9	15.6

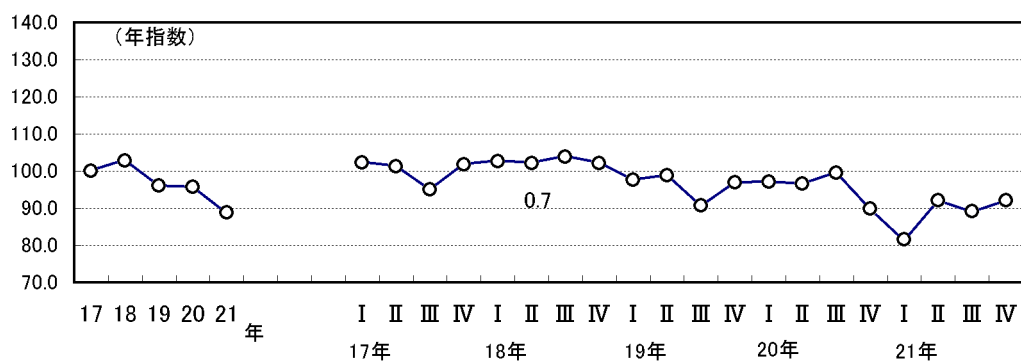
⑮ 食料品工業



平成21年の食料品工業の生産指数は86.8で、前年比▲6.0%と5年連続の低下となった。

〔電気機械工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
21年	86.8	-	▲ 6.0
Ⅰ期	83.5	▲ 12.5	▲ 8.5
Ⅱ期	88.0	5.5	▲ 2.3
Ⅲ期	87.9	▲ 0.1	▲ 3.4
Ⅳ期	88.0	0.1	▲ 7.8

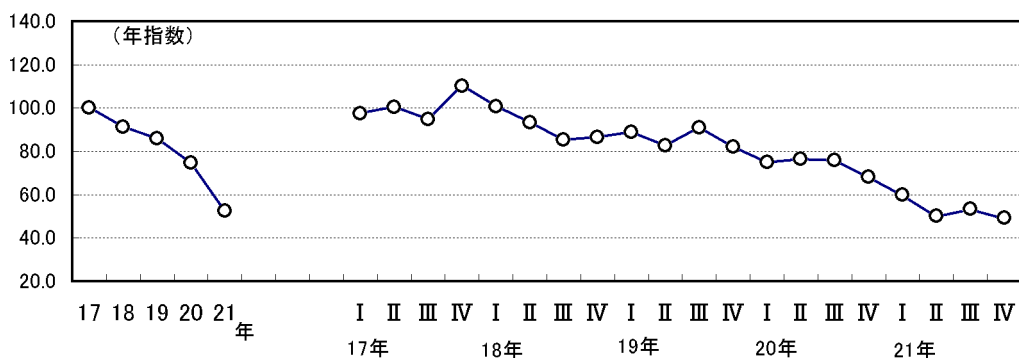
⑯ パルプ・紙・紙加工品工業



平成21年のパルプ・紙・紙加工品工業の生産指数は88.9で、前年比▲7.2%と2年連続の低下となった。

〔情報通信機械工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
21年	88.9	-	▲ 7.2
Ⅰ期	81.5	▲ 9.3	▲ 16.1
Ⅱ期	92.0	13.0	▲ 4.7
Ⅲ期	89.2	▲ 3.1	▲ 10.3
Ⅳ期	92.1	3.3	2.6

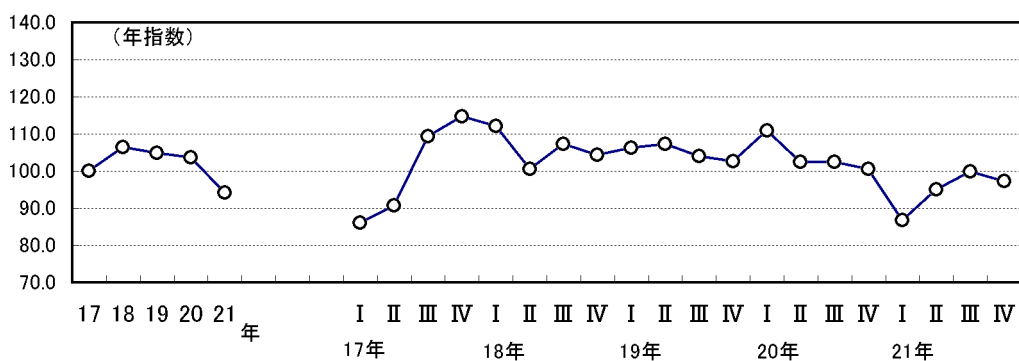
⑰ 家具工業



平成21年の家具工業の生産指数は52.5で、前年比▲29.7%と4年連続の低下となった。

〔電子部品・デバイス工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
21年	52.5	-	▲ 29.7
I期	59.9	▲ 12.2	▲ 19.9
II期	50.2	▲ 16.3	▲ 34.5
III期	53.4	6.4	▲ 29.5
IV期	49.1	▲ 8.0	▲ 28.0

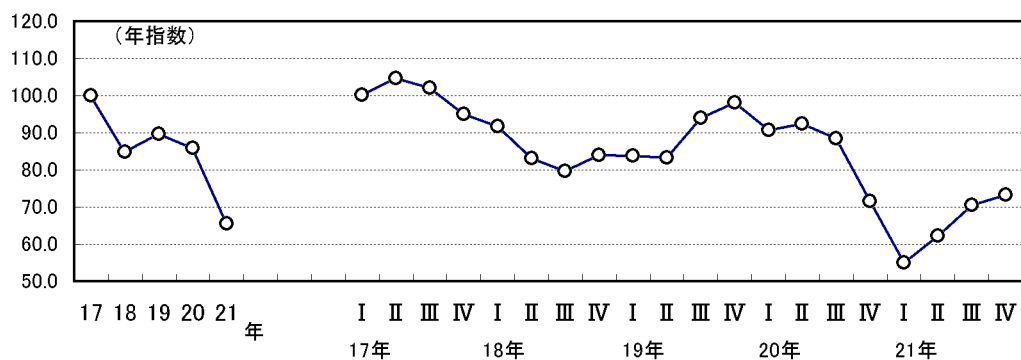
⑱ プラスチック製品工業



平成21年のプラスチック製品工業の生産指数は94.2で、第1四半期に低下したものの下半期には平成20年上半期の水準に戻った。

〔輸送機械工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
21年	94.2	-	▲ 9.1
I期	86.8	▲ 13.7	▲ 21.7
II期	95.0	9.4	▲ 7.2
III期	99.8	5.1	▲ 2.4
IV期	97.3	▲ 2.6	▲ 3.3

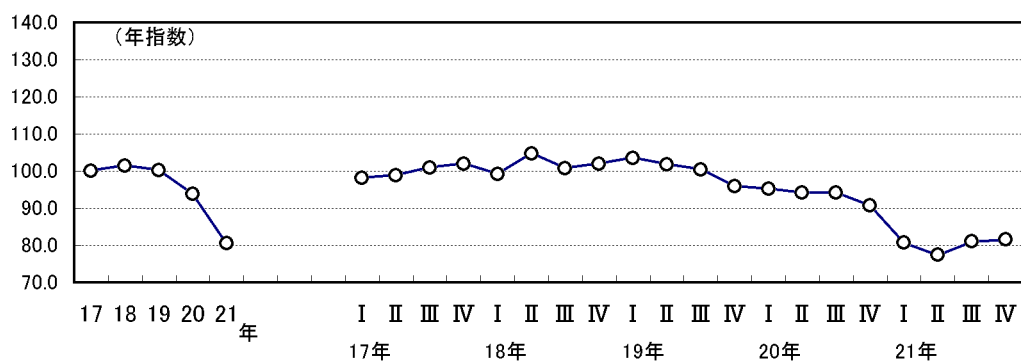
⑱ その他製品工業



平成21年のその他製品工業の生産指数は65.5で、前年比▲23.7%と2年連続の低下となった。

〔精密機械工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
21年	65.5	-	▲ 23.7
I期	55.0	▲ 23.2	▲ 39.4
II期	62.2	13.1	▲ 32.8
III期	70.6	13.6	▲ 20.2
IV期	73.3	3.8	2.3

⑳ 鉱業



平成21年の鉱業の生産指数は80.4で、前年比▲14.3%と3年連続の低下となった。

〔薬業・土石製品工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
21年	80.4	-	▲ 14.3
I期	80.6	▲ 11.1	▲ 15.2
II期	77.4	▲ 4.1	▲ 17.8
III期	81.0	4.7	▲ 14.0
IV期	81.5	0.6	▲ 10.1

(3) 特殊分類（財別）の生産動向

特殊分類とは、それぞれの品目を経済的用途によって分類したものであり、その内容は表4のとおりである。

表4 特殊分類（財別）の分類定義

分類	定義
最終需要財	鉱工業又は他の産業に原材料として投入されない最終製品 ただし、建設財を含み、企業消費財を除く
投資財	資本財と建設財の合計
資本財	主として家計以外で購入される財で耐用年数1年以上の財
建設財	建築用と土木用の合計
消費財	主として家計で購入される財
耐久消費財	耐用年数が1年以上で比較的購入単価が高い製品
非耐久消費財	耐用年数が1年未満、又は比較的購入単価が安い製品
生産財	鉱工業及び他の産業に原材料として投入される商品 ただし、輸出用の中間生産物、企業消費財を含み、建設財を除く

図4は、平成17年以降の特殊分類（財別）生産指数の推移を表したものである。

平成21年は、最終需要財および生産財ともに低下した。

図4 特殊分類（財別）生産指数の推移
（統計表11）

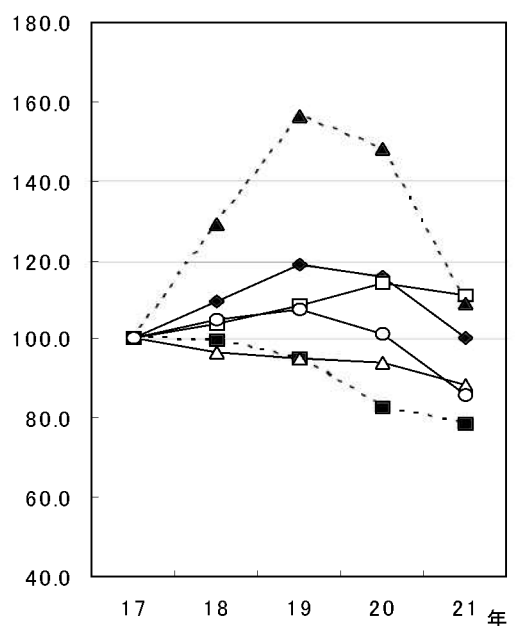


表5 特殊分類（財別）生産指数
（統計表11）

分類	平成21年生産指数	前年比 (%)
鉱工業総合	91.7	▲14.3
最終需要財	100.0	▲13.4
投資財	99.9	▲3.4
資本財	111.0	▲2.8
建設財	78.4	▲5.2
消費財	100.1	▲20.0
耐久消費財	108.8	▲26.5
非耐久消費財	88.2	▲6.2
生産財	86.0	▲15.1

(ア) 終需要財

a 投資財

投資財の生産指数は、99.9で前年比▲3.4%となり、2年連続の低下となった。内訳をみると、資本財の生産指数は、111.0で前年比▲2.8%と6年ぶりの低下となり、建設財の生産指数は、78.4で前年比▲5.2%と4年連続の低下となった。

b 消費財

消費財の生産指数は、100.1で前年比▲20.0%となり、2年連続の低下となった。内訳をみると、耐久消費財の生産指数は、108.8で前年比▲26.5%と2年連続の低下となり、非耐久消費財の生産指数は、88.2で前年比▲6.2%と4年連続の低下となった。

(イ) 生産財

生産財の生産指数は、86.0で前年比▲15.1%と、2年連続の低下となった。

図5は、総合生産指数の伸びに対する財別の寄与度について平成17年以降の推移を表したものである。平成21年は、生産財の及ぼす影響が非常に大きくなっている。

図5 鉱工業総合指数の伸びに対する財別寄与度の推移

